

世界史 1/13

第1問

西アジアと地中海世界について述べた次の文章を読み、以下の問い（問1～6）に答えよ。

地中海地域ではオリエントの影響を受け、前2000年頃にクレタ文明が生まれた。前16世紀には、ギリシア本土のミケーネ、ティリンスなどに小王国が成立し、クレタ島などにも進出した。しかし、前1200年頃にこれらの小王国は破壊され、同じ頃、アナトリア高原（小アジア）の〔①〕人の王国が滅亡し、エジプト新王国もシリアから勢力を後退させた。これを機に、地中海で交易活動を展開したのが〔②〕人で、地中海沿岸各地に植民市を建設した。

前8世紀に入るとギリシアでポリスが成立した。ギリシア人も植民活動を開始し、〔②〕人と競合しながら地中海や黒海沿岸に植民市を建設していった。小アジアの〔③〕では最古の金属貨幣が使用されたが、ギリシア人もこれにならい金属貨幣が用いられるようになった。前7世紀までには貴族政のポリスが一般的となったが、経済の活性化は平民の地位を向上させた。アテネでは^(a)前6世紀にクレイステネスの改革が進み、前5世紀半ば頃には〔④〕のもとで民主政が完成した。アケメネス朝に対する^(b)イオニア地方のギリシア人植民市の反乱をきっかけにおこったペルシア戦争は、前479年の〔⑤〕でギリシアの勝利が確定した。ペルシア戦争後、アテネは勢力を拡大してスパルタと対立し、前431年にペロポネソス戦争が勃発した。この後、ポリス間の抗争が続くなか、北方のマケドニアが台頭し、前338年、フィリッポス2世が〔⑥〕でギリシアをほぼ制圧した。前334年、マケドニアのアレクサンドロス大王はマケドニア・ギリシア連合軍を率いて東方遠征に出発し、アケメネス朝を滅ぼして大帝국을築いたが、大王の急死で帝国は諸王国に分裂した。^(c)ヘレニズム諸王国の各地にはギリシア風の都市が建設され、ギリシア文化は各地に浸透していった。

一方、イタリア半島におこった都市国家ローマは、前3世紀前半に^(d)イタリア半島を統一し、その後、カルタゴとの3回にわたるポエニ戦争に突入した。第2回ポエニ戦争ではカルタゴ軍がイタリア半島に侵入し、ローマは危機に陥ったものの、将軍〔⑦〕がザマの戦いで勝利した。前146年、ローマはカルタゴを滅ぼしたが、この頃までに、東方でも〔⑧〕朝を滅ぼしてマケドニアやギリシア諸ポリスも支配下においた。^(e)対外的な発展は社会を変化させ、ローマは混乱の時代をむかえた。平民派の政治家〔⑨〕が無産市民から志願兵を募る軍制改革を行うと、有力者は私兵を擁して対立した。この「内乱の1世紀」は、カエサルの子オクタウィアヌスがプトレマイオス朝の女王クレオパトラと結んだアントニウスを〔⑩〕で破ったことで終結した。ローマがエジプトを併合したことで、地中海は名実ともに一つの「地中海世界」となり、ローマは事実上皇帝が支配する地中海帝国となった。

世界史 $\frac{2}{13}$

問1 文章中の空欄 ① ～ ⑩ に入れるのに最も適当な語を以下の〔語群〕から選び、記号で答えよ。

〔語群〕

ア サラミスの海戦	イ アクティウムの海戦	ウ マラトンの戦い
エ イッソスの戦い	オ プラタイアの戦い	カ カイロネイアの戦い
キ アンティゴノス	ク カッシート	ケ リディア
コ セレウコス	サ メディア	シ ミタンニ
ス アッシリア	セ フェニキア	ソ ヒッタイト
タ スラ	チ ボンペイウス	ツ アラム
テ スキピオ	ト ハンニバル	ナ ペリクレス
ニ ペイシストラトス	ヌ テミストクレス	ネ マリウス

問2 下線部(a)について、前6世紀末に行われたクレイステネスの改革について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 平民だけの民会として平民会が設けられた。
- イ 負債を帳消しにし、債務奴隷が禁止された。
- ウ 地縁にもとづくデーモスを基礎とする10部族制が定められた。
- エ 慣習法が成文化され、法による秩序の維持がはかられた。

問3 下線部(b)について、この地方で自然哲学が発達したが、万物の根源を水と考え、自然哲学の祖とされた哲学者の名を答えよ。

問4 下線部(c)について、ポリスの粋をこえ、普遍的な立場からものをとらえようとするヘレニズム時代の思想を何というか、答えよ。

問5 下線部(d)について、ローマが征服した諸都市の団結や反抗を防ぐために用いた統治法を何というか、答えよ。

問6 下線部(e)について、第2回ポエニ戦争以降広がった、戦争で獲得した奴隷を用いて大規模な農業経営を行う大土地所有制を何というか、答えよ。

世界史 $\frac{3}{13}$

第2問

江南の歴史について述べたA～Cの文章を読み、以下の問い（問1～15）に答えよ。

A (a)春秋・戦国時代に長江中流域を根拠地に中国南部一帯を支配したのは楚である。春秋の五霸といわれる莊王の時代に勢力を広げ、戦国時代も南方の強国であった。しかし、西方の秦が国力を伸張させ、楚は秦に仕えた(b)張儀の策略に翻弄されて秦軍に敗れた。その後、楚の都を秦に占領されると、王族の(c)屈原はこれを嘆いて汨羅に身を投じた。

江南が政治の中心地の一つとなったのは(d)三国時代である。長江下流域には呉が建国され、現在の南京に都がおかれた。以後、晋（西晋）の滅亡により (e) が再興した(f)東晋、これに続く南朝が興亡したが、いずれの王朝もこの都市を都とした。この時代は五胡の侵入による混乱を避けて華北から多くの人に移住したため、江南では人口が急増して開発が進んだ。

問1 下線部(a)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 鉄製農具の使用や牛耕が始まり、農村では氏族共同体の規制が強化された。
- b 秦で使われた円銭や、農具を模した布銭などの青銅貨幣が流通した。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a－正 | b－正 | イ | a－正 | b－誤 |
| ウ | a－誤 | b－正 | エ | a－誤 | b－誤 |

問2 下線部(b)に関連して、諸子百家について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 前4世紀、秦は法家の李斯の改革で強国となった。
- イ 孟子は徳による王道政治を理想とし、易姓革命を説いた。
- ウ 墨子は人為的な道徳を否定し、無為自然を説いた。
- エ 張儀や蘇秦は外交政策や策略を説いた兵家の代表的人物である。

問3 下線部(c)について、この人物らの詩歌を中心とした文学作品集を何というか、答えよ。

世界史 $\frac{4}{13}$

問4 下線部(d)について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 孫権が建てた呉は、華北を領有する魏に滅ぼされた。
- イ 魏の曹操は、占田・課田法を実施し、土地を失った農民に官有地を耕作させた。
- ウ 魏の曹丕は、官吏任用制度として九品中正を創始した。
- エ 魏を奪った晋（西晋）は、四川に劉備が建てた蜀を滅ぼして中国を統一した。

問5 文章中の空欄 (e) に入れるのに最も適当な人名を答えよ。

問6 下線部(f)の時代の文化について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 法顕がヴァルダナ朝治下のインドに赴き、『仏国記』を著した。
- イ 韓愈や柳宗元が古文の復興をとらえた。
- ウ 「書聖」と称えられる顧愷之が楷書、行書、草書の書体を確立した。
- エ 田園生活や自然の美をうたった詩人の陶潜（陶淵明）や謝靈運が活躍した。

B 581年、(g)の軍人で外戚の楊堅（文帝）が隋を建て、(h)を滅ぼして中国を再統一した。文帝の子の煬帝の時代に、江南と華北とを結ぶ大運河が完成した。都の大興城から長江北岸の江都（揚州）が運河で結ばれ、さらに南の余杭（杭州）にいたる江南河がつくられた。また、黄河の北方に永濟渠が開かれ、その北端の涿郡（北京）には_(i)高句麗遠征の際に軍の基地がおかれた。大運河が以後の中国に果たした役割は大きいが、大運河の工事には膨大な数の農民が徴発された。_(j)唐代には、ムスリム商人の来航で長江北岸の揚州や_(k)広東の広州などの港湾都市が発展した。

問7 文章中の空欄 (g)・(h)に入れる語の組合せとして正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア (g)ー北周 (h)ー梁
- イ (g)ー北周 (h)ー陳
- ウ (g)ー北齊 (h)ー梁
- エ (g)ー北齊 (h)ー陳

世界史 $\frac{5}{13}$

問8 下線部(i)について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 楽浪郡を滅ぼし、朝鮮半島北部を支配した。
- イ 都として上京竜泉府を造営した。
- ウ 白村江の戦いで日本は高句麗に大敗した。
- エ 百済と新羅の連合軍によって滅ぼされた。

問9 下線部(j)に関連して、唐代の政治について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 中央におかれた三省のうち、門下省が詔勅を起草した。
- イ 則天武后は、科举官僚を積極的に登用した。
- ウ 安史の乱後、兵制が傭兵を用いる募兵制となった。
- エ 本籍地をもとに夏・秋2回徴税する兩税法が実施された。

問10 下線部(k)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 秦は南越を滅ぼし、現在の広東省に南海郡をおいた。
- b 広州には海上交易を管理する市舶司がおかれた。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ア a－正 | b－正 | イ a－正 | b－誤 |
| ウ a－誤 | b－正 | エ a－誤 | b－誤 |

C (1) 金の侵入で北宋が滅んだ後、(m)が江南に政権を建て、都をおいた地が錢塘江下流の臨安(杭州)である。この都市は大運河の南端となって以降、江南文化の中心地の一つとなり、唐代には玄宗と楊貴妃の悲恋をうたった「長恨歌」で知られる詩人(n)が、北宋時代には詩人の蘇軾が官吏として赴任している。(o)南宋時代には対外貿易も発展したが、13世紀後半、この都市は(p)元軍に占領され、元が中国全土を支配することになった。元のフビライに仕えたマルコ＝ポーロの『世界の記述』(『東方見聞録』)には杭州の繁栄ぶりが記されており、14世紀にはモロッコ出身の旅行家(q)も杭州を訪れた。

世界史 $\frac{6}{13}$

問11 下線部(1)について、宋と金の関係について述べた次の文章中の空欄〔あ〕・〔い〕に入れる語の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

北宋が〔あ〕で滅ぼされた後、南宋は金と抗戦し華北の奪還をめざしたが、和平をとる〔い〕が主戦派をおさえて金と和議を結んだ。淮河を境界として南宋は金に対して臣下の礼をとり、毎年多額の銀や絹をおくることになった。

- ア あー靖難の役 いー岳飛 イ あー靖難の役 いー秦檜
ウ あー靖康の変 いー岳飛 エ あー靖康の変 いー秦檜

問12 文章中の空欄〔m〕に入れるのに最も適当な皇帝名を答えよ。

問13 文章中の空欄〔n〕・〔q〕に入れる語の組合せとして正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア (n)ー白居易 (q)ーイブン＝バットゥータ
イ (n)ー白居易 (q)ーイブン＝ハルドゥーン
ウ (n)ー杜甫 (q)ーイブン＝バットゥータ
エ (n)ー杜甫 (q)ーイブン＝ハルドゥーン

問14 下線部(o)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 「清明上河図」には、首都臨安の繁栄の様子が描かれている。
b 長江下流域では囲田が造成され、江蘇・浙江地域が穀倉地帯となった。

- ア aー正 bー正 イ aー正 bー誤
ウ aー誤 bー正 エ aー誤 bー誤

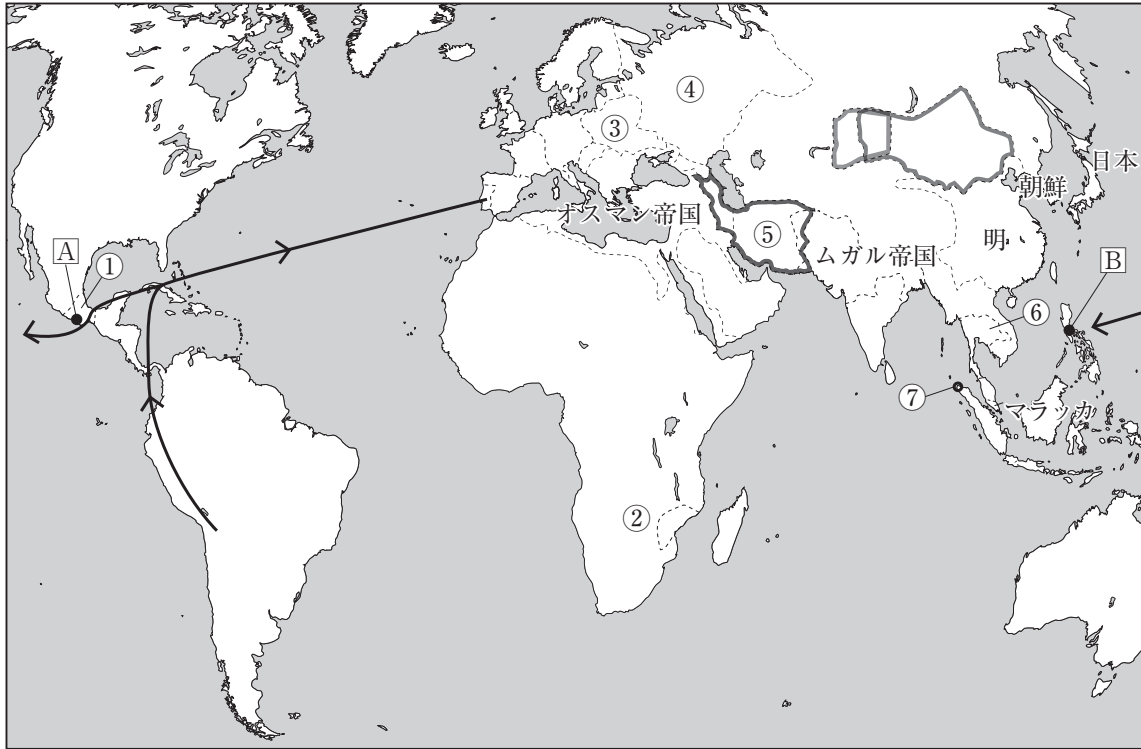
問15 下線部(p)に関連して、元代の社会経済について述べた文として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア ジャムチとよばれる駅伝制が、隊商の広域商業圏の形成を促した。
イ 長江下流から山東半島を経由して大都に至る海運が発達した。
ウ 農村社会では宋代以来の大土地所有制が発展した。
エ 交子が主要通貨となり、余った銅銭が大量に日本に輸出された。

世界史 7/13

第3問

16世紀の世界を示した次の地図について、以下の問い（問1～15）に答えよ。なお、地図中の①～⑦は国、あるいは王朝を、[A]・[B]は都市を示している。



問1 大航海時代について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a カボットがブラジルに漂着し、この地をポルトガル領と宣言した。
b マゼランはパナマ地峡を通り、太平洋を西進してフィリピンに到達した。

ア	a－正	b－正	イ	a－正	b－誤
ウ	a－誤	b－正	エ	a－誤	b－誤

世界史 $\frac{8}{13}$

問2 地図中の①について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア ピラミッド状の神殿を建設し、テノチティトランを都とした。
- イ 独自の絵文字、二十進法による数の表記や暦法などの高度な文化をもった。
- ウ 石造建築の技術にすぐれ、マチュ＝ピチュの遺跡をのこした。
- エ スペインの征服者ピサロによって滅ぼされた。

問3 ポルトガルは15世紀末からキルワなど東アフリカ沿岸の港市を攻略し、地図中の②が産出する金を獲得したが、インド洋交易で栄えた②の国名を答えよ。

問4 大航海時代によって起こったヨーロッパの変化について述べた文として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 価格革命によって、固定地代に依存する封建領主層が打撃を受けた。
- イ エルベ川以東の地域が輸出用穀物の生産地となり、農奴解放が進んだ。
- ウ 商業の中心が地中海から大西洋沿岸諸国に移る商業革命が起こった。
- エ アメリカ大陸原産のジャガイモやトウモロコシなどが伝来し、人々の生活に影響を与えた。

問5 16世紀後半、スペインの全盛時代を築いた国王について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア アルマダ海戦でイギリスの無敵艦隊に敗北した。
- イ プレヴェザの海戦でオスマン帝国に勝利した。
- ウ ポルトガルを併合し、同君連合を形成した。
- エ オランダ独立戦争を招き、南部フランドル地方の10州が独立を宣言した。

問6 宗教改革者カルヴァンについて述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア スイスのチューリヒに招かれ、神権政治を行った。
- イ 予定説を説き、教会組織として長老主義をとった。
- ウ 『キリスト者の自由』を著した。
- エ デンマークやスウェーデンはカルヴァン派の新教国となった。

世界史 $\frac{9}{13}$

問7 対抗宗教改革（反宗教改革）について述べた次の文章中の空欄 あ ・ い に入れる語の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

カトリック教会は体制の再建をはかり、1545年から あ で開かれた公会議で教皇の至上権を再確認し、禁書目録を制定した。また、1540年に教皇に認可されたイエズス会が行った布教活動は、明に い が派遣されたように、大航海時代の通商や植民活動を背景にアジアにも及んだ。

- ア あーコンスタンツ いーカステイリオーネ
 イ あーコンスタンツ いーマテオ＝リッチ
 ウ あートリエント いーカステイリオーネ
 エ あートリエント いーマテオ＝リッチ

問8 地図中の③と④の国で16世紀におこった出来事について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a ③の国では、ヤゲウォ（ヤゲロー）朝が断絶し、選挙で王を選ぶ選挙王制となった。
 b ④の国では、イヴァン4世が貴族の勢力をおさえ、中央集権化をはかった。

- ア a－正 b－正 イ a－正 b－誤
 ウ a－誤 b－正 エ a－誤 b－誤

問9 地図中の⑤について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア アルダシール1世がタブリーズを占領して建国した。
 イ シーア派のイスマール派を国教とした。
 ウ アンカラ（アンゴラ）の戦いでオスマン帝国を破った。
 エ アッバース1世がホルムズ島からポルトガル勢力を駆逐した。

問10 ムガル帝国の第3代皇帝アクバルについて述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 最大領土を実現した。
 イ 人頭税（ジズヤ）を廃止した。
 ウ アグラにタージ＝マハルを造営した。
 エ 官僚制度としてティマール制を定めた。

世界史 $\frac{10}{13}$

問11 地図中の⑥は14世紀半ばに成立し、16世紀以降はヨーロッパ諸国や中国・日本とも交易を行った。この王朝の名を答えよ。

問12 地図中の⑦は15世紀末におこったイスラーム教国で、マラッカを占領したポルトガルに対抗し、ムスリム商人を受け入れて香辛料交易で繁栄した。この王国の名を答えよ。

問13 スペインはメキシコ銀を地図中の[A]から[B]に運び、中国の絹や陶磁器と交換して大きな利益をあげた。この貿易のことを何というか、答えよ。

問14 明について述べた次の文章中の空欄 う え に入れる語の組合せとして正しいものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

16世紀には中国の周辺で国際商業が活発となり、沿岸部や都市は商工業で繁栄した。一方、農村では多くの農民が没落し、村落行政制度の う が衰えて税収が悪化した。このため、万暦帝時代の初期に え は、全国的な検地を行うなど財政再建につとめた。

- | | | |
|---|-------|-------|
| ア | うー三長制 | えー王安石 |
| イ | うー三長制 | えー張居正 |
| ウ | うー里甲制 | えー王安石 |
| エ | うー里甲制 | えー張居正 |

問15 16世紀から17世紀半ばの東アジア諸国について述べた文として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 石見銀山などで産出された大量の日本銀が中国に流入した。
- イ 江戸幕府を開いた徳川家康は朱印船貿易を推進した。
- ウ エセン＝ハンが明に侵入を繰り返し、一時北京を包囲した。
- エ 壬辰・丁酉倭乱で、李舜臣は亀船（亀甲船）を使った水軍を指揮して日本軍に抵抗した。

世界史 $\frac{11}{13}$

第4問

冷戦とグローバル化の進展について述べた次の文章を読み、以下の問い（問1～6）に答えよ。

第二次世界大戦中から連合国は大西洋憲章で戦後世界の構想を示していたが、1945年6月、① 会議で国際連合憲章が採択され、同年10月、国際連合が発足した。国際連合では、全加盟国が参加する総会や国際紛争解決のための経済的・軍事的制裁を決定する強力な権限をもつ安全保障理事会が設置された。また、(a)国際通貨基金（IMF）と国際復興開発銀行（IBRD、世界銀行）を中心とする経済体制が成立した。

しかし、米ソの協調は続かず、東欧地域で親ソ政権が成立するなか、1947年3月にアメリカ大統領 ② がギリシア・トルコの共産主義化を阻止する「封じ込め政策」を提唱し、6月にはアメリカ国務長官がマーシャル＝プランを発表した。これに対し、ソ連は同年 ③ を、さらに1949年には ④ を結成して社会主義陣営の結束を固めた。こうして、世界はアメリカ合衆国を中心とする西側陣営とソ連を中心とする東側陣営に分かれて対立することになった。ヨーロッパにおいて東西陣営はベルリン封鎖で対立し、(b)ドイツは東西に分断された国家となった。

一方、アジアではホー＝チ＝ミンが ⑤ の独立を宣言したことに対し、これを認めないフランスとの間でインドシナ戦争がおこった。1954年のジュネーヴ休戦協定でフランスは撤退したが、この調印を拒否したアメリカ合衆国は東南アジアの共産主義化を警戒して1954年9月に ⑥ を結成し、翌1955年にはアメリカ合衆国の支援でゴ＝ディン＝ジエムが南部に ⑦ を建てた。

1953年にアメリカ大統領に就任した ⑧ も反共路線をとったが、1956年、ソ連のフルシチョフ第一書記が (c)スターリン批判を行い、平和共存を提唱したこと で、東西両陣営の緊張緩和がみられた。この時期、アジア・アフリカの新興独立国が結束し、東西いずれの陣営にも属さない第三世界として国際政治における影響力をもつようになった。1955年にはアジア・アフリカ29か国の代表が参加した (d)アジア＝アフリカ会議（バンドン会議）が開催され、反植民地主義と平和共存をうたった平和十原則が採択された。 アフリカでは1960年に17か国が独立し、この「アフリカの年」とその前後に (e)独立したアフリカ諸国は地域機構を結成して、アフリカの連帯を掲げた。 さらに、1961年にはユーゴスラヴィアのベオグラードで第1回非同盟諸国首脳会議が開かれた。

1960年代は政治や経済を揺るがす出来事が各地でおこったが、核戦争勃発の危機に直面したキューバ危機は世界を震撼させた。キューバでは1959年に親米的な ⑨ 政権がカストロらによって打倒され、1961年に社会主義国化を宣言した。さらにソ連によるキューバでのミサイル基地建設が発覚すると、米ソ間の緊張は一気に高まった。ソ連の譲歩で危機は回避され、この事件をきっかけに1963年に ⑩ が締結され、核軍縮をめざす動きが進むことになった。

世 界 史 $\frac{12}{13}$

問1 文章中の空欄 ① ～ ⑩ に入れるのに最も適当な語を以下の〔語群〕から選び、記号で答えよ。

〔語群〕

ア トルーマン	イ ワシントン	ウ ケネディ
エ ダンバートン＝オークス	オ アイゼンハワー	カ サンフランシスコ
キ フランクリン＝ローズヴェルト	ク ワルシャワ条約機構	ケ コミンテルン
コ 東南アジア諸国連合（ASEAN）	サ 核拡散防止条約（NPT）	
シ ベトナム社会主義共和国	ス ベトナム民主共和国	セ コメコン
ソ ベトナム国	タ コミンフォルム	チ バティスタ
ツ アジェンデ	テ ベトナム共和国	
ト 太平洋安全保障条約（ANZUS）	ナ ペロン	
ニ 東南アジア条約機構（SEATO）	ヌ 部分的核実験禁止条約	

問2 下線部(a)について、この国際経済体制を何というか、答えよ。

問3 下線部(b)について、1960年代末から1970年代前半にかけて、東側諸国との関係改善をはかる東方外交を推進した西ドイツ首相の名を答えよ。

問4 下線部(c)について、ソ連の方針転換を受けて1956年に民主化運動がおこったが、ソ連軍の介入で弾圧された国を答えよ。

問5 下線部(d)について、1954年にインドのネルー首相とともに平和五原則を発表し、アジア＝アフリカ会議の開催に影響を与えた人物の名を答えよ。

問6 下線部(e)について、アフリカ諸国について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 1956年、チュニジア・アンゴラがフランスから独立した。
- イ 1957年、エンクルマ（ンクルマ）の指導のもとギニアが独立した。
- ウ 1962年、ド＝ゴール政権がアルジェリアの独立を承認した。
- エ 1963年、アフリカ諸国首脳会議でアフリカ連合（AU）が結成された。

世界史 $\frac{13}{13}$

第5問

次の問1、2について、それぞれ120字以内で答えよ。

問1 19世紀、南下政策を推進するロシアは、世界各地でヨーロッパ諸国の利害と衝突し、国際紛争や国際危機を引き起こした。1870年代後半にロシアが南下政策の実現をめざした戦争からベルリン会議が開かれるまでの国際情勢を、この戦争の名称と会議にかかわった国名を明らかにしながら、次の語句を必ず使用して、説明しなさい。

ビスマルク オスマン帝国

問2 11～12世紀のヨーロッパでは、農業生産の増大、貨幣経済の広がり、十字軍の影響による交通の発達などを背景に、商業ルネサンスと呼ばれる商業の急速な発展が見られた。この時期の地中海商業圏と北ヨーロッパ商業圏における商業活動の特徴について、次の語句を必ず使用して、説明しなさい。

リューベック 香辛料